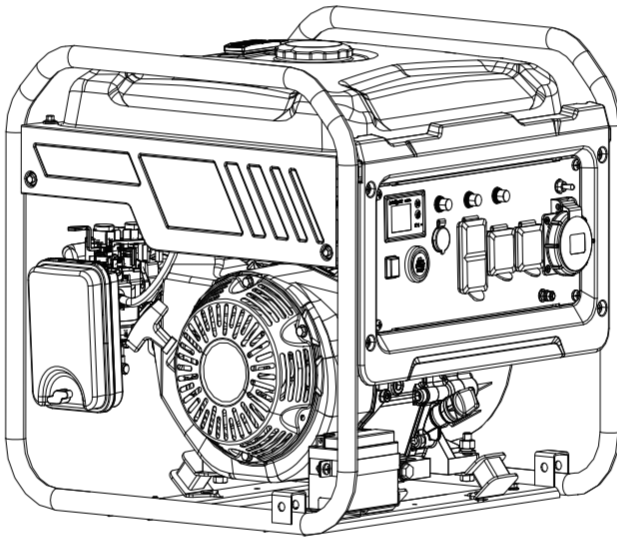


# EENOOR



## インバーター発電機GT8000iOTE 取扱説明書








# はじめに

このたびはEENOURインバーター発電機GT8000iOTEをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ごぞいます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

## 安全に関する表示について

本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

 <b>危険</b>	人が死亡または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
 <b>警告</b>	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。
 <b>禁止</b>	取扱においてその行為を禁止します。
 <b>指示</b>	指示に基づく行為を強制します。

この取扱説明書は、仕様変更等によりイラスト、内容が一部実機と異なる場合があります。

# 目次

<b>安全にお使いいただくために</b> -----	01~02
<b>各部の名称と取り扱い</b> -----	03~12
・各部の名称 -----	03~04
・ディスプレイの紹介 -----	05
・ボタン・ランプの説明 -----	06~08
・各部の取り扱い -----	09~12
<b>運転前の点検</b> -----	13~15
・燃料の給油 -----	13
・エンジンオイルの給油 -----	14
・バッテリーの接続 -----	15
・本機周辺の点検 -----	15
・発電機の接地 -----	15
<b>発電機のかけ方</b> -----	16~18
・エンジンの起動 -----	16~17
<b>電気の取り出し方</b> -----	18~19
・ACコンセントの出力 -----	18
・エンジンの停止 -----	19
・適用範囲 -----	19
<b>点検・整備の仕方</b> -----	20~23
・定期点検表 -----	20
・エンジンオイルの交換 -----	21
・エアクリーナーエレメントの清掃 -----	21
・点火プラグの点検と清掃 -----	22
・燃料タンクストレーナーの清掃 -----	22
・エアクリーナーエレメントの清掃 -----	23
<b>運搬する場合には</b> -----	24
<b>一時保管・長期保管</b> -----	25~26
<b>不具合時の対応</b> -----	27
<b>仕様諸元</b> -----	28
<b>配線図</b> -----	29
<b>保証期間およびお問い合わせ</b> -----	30
<b>保証書</b> -----	31
<b>保証の適用例外</b> -----	32

# 安全にお使いいただくために

運転、保守、点検の前に必ずこの取扱説明書、および商品本体に貼付されているラベル全てを熟読し、正しくご使用ください。商品の知識、安全の情報そして注意事項の全てに習熟してからご使用ください。

## ⚠ 危険

### ❗ 燃料補給時など燃料取扱時には、火気厳禁

タバコを吸ったり、炎や花火などの火気に近づいたりしないでください。燃料はエンジンを止めてから補給してください。燃料への引火や火災の原因となります。

### ⊘ 本機付近に障害物や危険物、燃えやすい物を置かない

建物およびその他の設備から1m以上離して設置してください。火災や故障の原因となります。

### ⊘ 燃料をこぼさない

燃料がこぼれた場合は、きれいに拭き取り、乾かしてからエンジンを始動してください。拭き取った布切れなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。

### ⊘ 車内、テント内、倉庫など室内および換気の悪い場所では運転しない

エンジンの排気ガスには有害な物質が含まれているため、ガス中毒を起こす原因となります。

### ⊘ 傾斜地で使用しない

平坦・水平で硬い場所で使用してください。また、運搬時は燃料を抜いてください。燃料タンクキャップやキャブレターから燃料がこぼれ、火災の原因となります。

### ⊘ 本機の周りにガソリン、または危険物や燃えやすい物を近づけない

本機から出る排気ガスは熱くなります。本機や本機に接続された電気機器に損傷を起こすだけでなく、思わぬ事故を起こす原因となります。

### ⊘ 電力会社からの電気配線には絶対接続しない

本機や接続の電気機器を故障させたり、火災あるいは人身事故の原因となります。

### ⊘ 雨の中や水のかかる場所では使用しない

雨や水で濡れた発電機や接続の電気機器を使用したり、また濡れた手で操作すると感電するおそれがあり危険です。

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 危険

### ❗ 本機を分解、修理、改造しない

取扱説明書に記載されている以外の分解や修理・改造は絶対に行わないでください。異常動作してけがをする、また本機や本機に接続された電気機器が故障する原因となります。

### ⊘ エンジンを始動させる前に必ず運転前点検を行う

人身傷害や機械の破損を防止することができます。手や足をはさんだり、思わぬ事故が起きる原因となります。

### ⊘ 長期保管前には燃料タンクやキャブレター内の燃料を抜き取り、本機を火気や湿気、凍結のおそれのない場所に保管する

抜き取った燃料は火災や爆発の原因となりますので、適切に処理してください。

### ⊘ 点検や清掃時は必ずエンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないようにメインスイッチをOFFの位置にし、点火プラグキャップを取り外す

エンジン停止直後のエンジン本体や排気口などは非常に熱くなっています。やけどをしないように、各部が十分に冷えてから作業を行ってください。

## ⚠ 警告

### ❗ 熱くなっている排気口やエンジン各部をさわらない

やけどの原因となります。

### ⊘ 本体に直接砂ぼこり、粉じん、煤煙などがかかる場所では使用しない

エンジン部品の早期摩耗の原因となります。始動時や運転中は、高圧コードや点火プラグ、点火プラグキャップに触れない感電の原因となります。

### ⊘ エンジン部や排気口部が十分に冷えるまで、本機にカバーを掛けない

火災の原因となります。

### ❗ 使用中に音、振動などで異常を感じたら直ちにエンジンを停止する取り外す

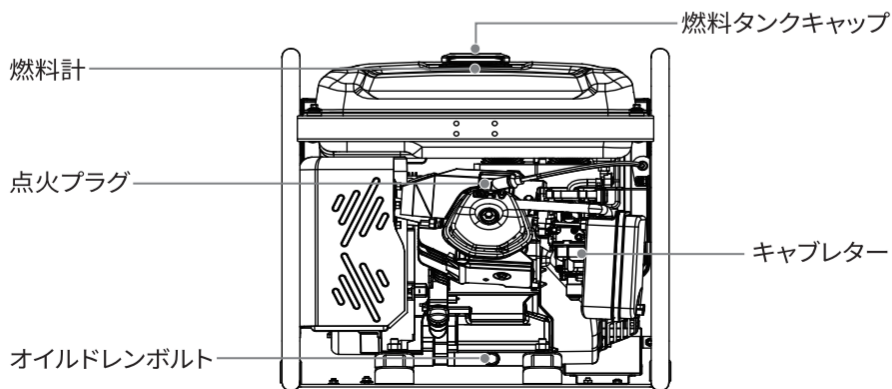
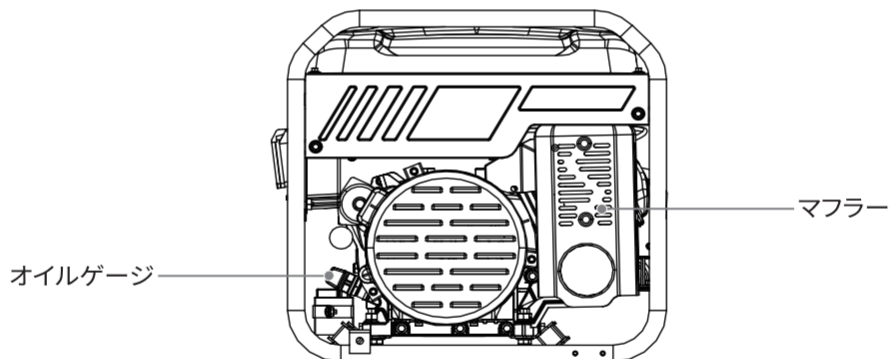
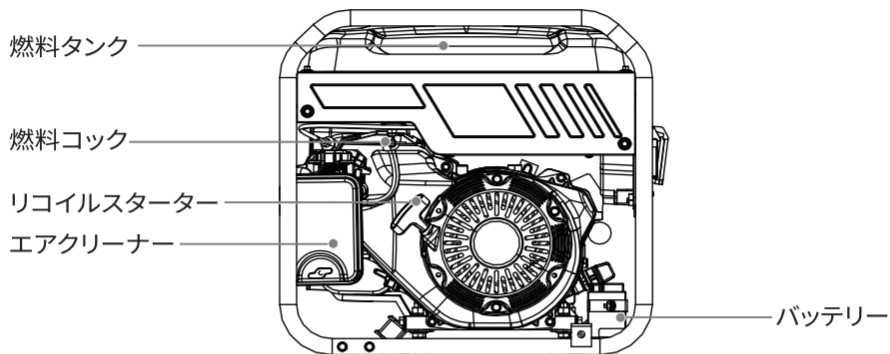
お買い上げ販売店またはサービス店にお申しつけください。燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は、石けんと水で直ちに洗い、衣類は取り替える燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、燃料が目に入った場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

### ❗ 運搬、保管、運転時のいずれも本機が落下、横倒、破損などしないよう水平を保つ

エンジンが故障したり、残っているガソリンがあふれたりする場合があります。特に運搬時には転倒しないようロープなどでしっかり固定してください。

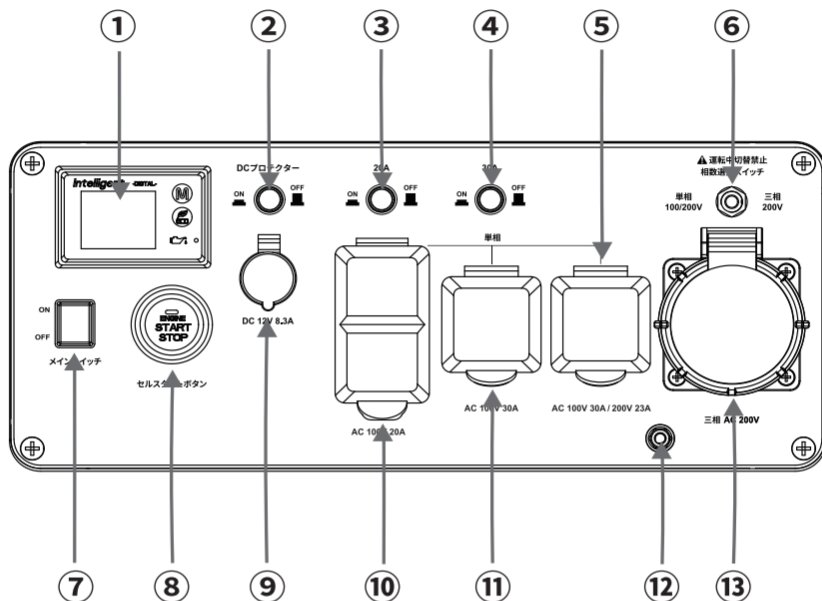
# 各部の名称と取り扱い

## 各部の名称



# 各部の名称と取り扱い

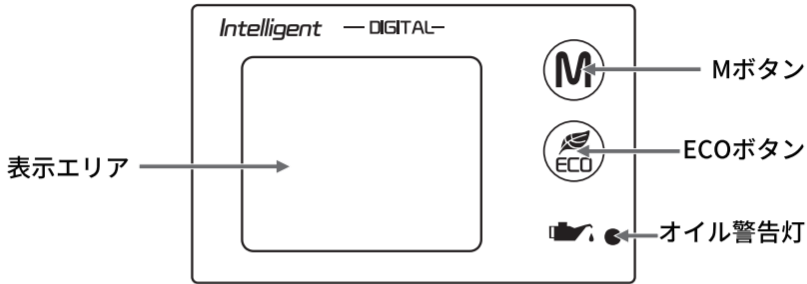
## 各部の名称



①ディスプレイ	②DCプロテクター	③ACプロテクター 20A
④ACプロテクター 30A	⑤AC出力コンセント 100V/200V (単相)	⑥相数選択スイッチ
⑦メインスイッチ	⑧セルスタートボタン	⑨DCシガーソケット
⑩AC出力コンセント 20A (単相)	⑪AC出力コンセント 30A (単相)	⑫アース端子
⑬AC出力コンセント 200V (三相)		

# 各部の名称と取り扱い

## ディスプレイの紹介



### Mボタン:

通常表示画面時: 単押しで表示画面を切り替える

故障表示画面時: 単押しで故障を解除し出力を復旧

メンテナンス画面時: 長押し(6秒)でメンテナンス通知を消去

長押し(3秒)で三相表示モードへ(黒背景・黄緑赤のL1\L2\L3三相对应文字)

### ECOボタン:

単押しでECOモード切替(左上隅のECOアイコンが点灯または消灯)

長押しで周波数切替画面へ

### M+ECO同時押し:

バージョン番号表示

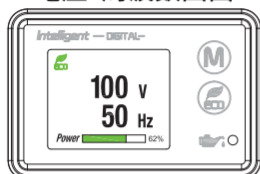
### オイル警報灯:

エンジンのオイルが不足しているとき、オイル警告灯が点灯

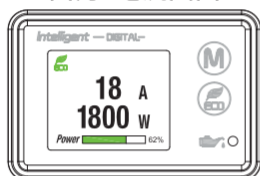
# 各部の名称と取り扱い

## ボタン・ランプの説明

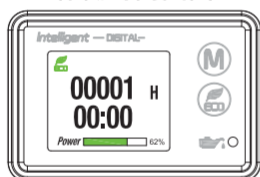
### 電圧・周波数画面



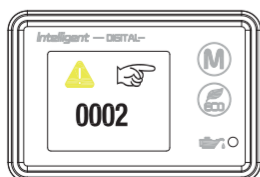
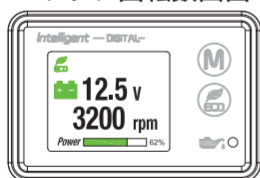
### 出力・電流画面



### 稼働時間画面



### バッテリー電圧・エンジン回転数画面



## 表示画面の紹介:電圧・周波数画面、出力・電流画面、稼働時間画面、バッテリー電圧・エンジン回転数画面

### 起動時表示:

電圧・周波数画面をデフォルトで表示。Mボタン押下で「出力・電流画面」→「稼働時間画面」→「バッテリー電圧・エンジン回転数画面」へ循環表示。

※出力表示値と実際の測定値には誤差が生じる可能性があります。特に小出力(100W以内)の場合、誤差が大きくなる傾向があります。

### ECOモードの切り替え:

ECOボタンを1回クリックすることで切り替え操作を行います。ECOアイコンが点灯すると、経済運転モード(省エネモード)に入ります。ECOアイコンが消えると、高速モード(通常運転モード)に切り替わります。

(発電機の停止後に再起動しても、前のECO設定状態(経済/高速モード)は保持されます。)

### 異常表示:

- ・出力電力が定格電力を超えた場合:電力バー全体が点滅警告
- ・出力電力が最大電力を超えた場合:電力バー全体が赤色警告(黄色点滅は過負荷警告であり、出力は停止しません。赤色表示時は過負荷保護プログラムが作動し、10秒以内に自動的に出力が停止され、故障表示画面に切り替わります。)

### 稼働時間画面:

上段:累積稼働時間(1時間単位)

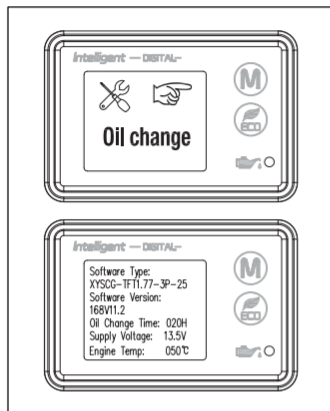
下段:単回稼働時間(1分単位)

## 表示画面の紹介:故障表示画面

インバーターの出力に異常が発生した場合、インバーターは出力を停止し、故障表示画面に切り替わります。Mボタンを押すと、インバーターの出力が復旧し、通常の表示画面に戻ります。故障コードは4桁の数字で構成されており、総電力過電流または総電力過負荷の場合、第4桁の故障コードに「D」または「E」が表示されます。他の故障コードが表示された場合は、販売元にお問い合わせください。

# 各部の名称と取り扱い

## ボタン・ランプの説明



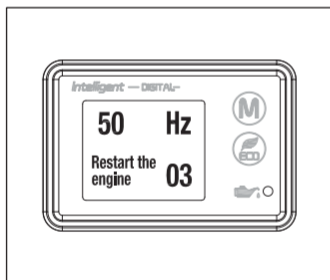
## 表示画面の紹介:メンテナンス・保守画面

メンテナンス時間になると、メンテナンス画面に遷移します。Mボタンを長押しすると、画面に6秒のカウントダウンが表示され、カウントダウン終了後に通常表示画面に戻ります。

初回のメンテナンス時間は運転開始から20時間後で、「オイル交換」のメッセージが表示されます。このメッセージを解除した後は、50時間ごとにオイルメンテナンスのお知らせが表示されます。

メンテナンス画面に移動しても、発電機の通常使用には影響しません。

通常表示画面時にMボタンとECOボタンを同時に押すと、バージョン情報表示モードに入り、メンテナンス時刻のカウントダウンを確認できます。



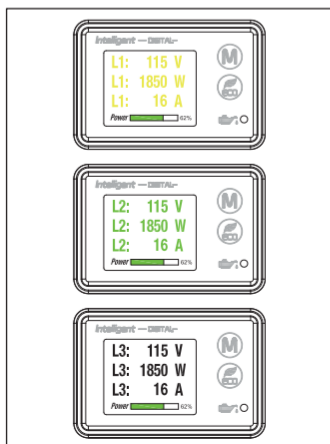
## 表示画面の紹介:周波数切り替え画面

機械の稼働状態で、ECOボタンを3秒間長押しすると、周波数切り替え画面に入ります。

画面には「現在の周波数」と「3秒カウントダウン」が表示され、カウントダウン終了後、周波数は現在の周波数から切り替え後の周波数に変わります。

「RESTART THE ENGINE」が点滅して表示されます。

周波数の切り替えが完了した後、機械をオフして再起動するまで切り替えは成功とは見なされません。



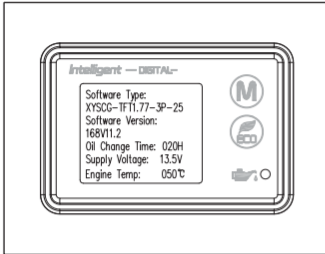
## 三相表示画面の紹介:

Mボタンを長押し(3秒)して「三相表示画面」に入ります。

三相表示モード時にMボタンをクリックすると、L1/L2/L3の各相界面(電圧/出力/電流)が順番に循環表示されます。三相表示モード時にMボタンを長押し(3秒)すると、全体表示画面に戻ります。

# 各部の名称と取り扱い

## ボタン・ランプの説明

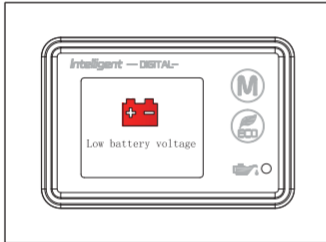


### 表示画面の紹介:バージョン情報表示画面

通常表示画面時に、MボタンとECOボタンを同時に押すと、バージョン情報表示画面に進みます。

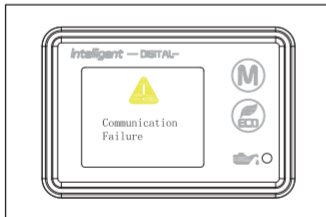
バージョン情報表示画面では、以下の情報を表示できます:

- デジタルメーターのバージョン情報
- メンテナンス保养のカウントダウン(残り時間)
- バッテリー電圧
- シリンダーヘッド温度



### 表示画面の紹介:バッテリー電圧低画面

始動時にバッテリーの電量が不足していると、バッテリー電圧低画面に遷移します。この状態では、電動始動(リモコン・セルスタート)で発電機を起動することができず、手動でクランク始動(リコイルスターター)するか、バッテリーを事前に充電してから再度電動始動を試みる必要があります。

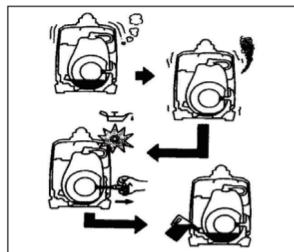


### 表示画面の説明:通信異常画面

デジタルメーター(数显表)とインバーターの接続が不良の場合、通信異常画面に遷移します。この状態では、デジタルメーターはインバーターとの通信ができなくなり、通常の表示が行えません。

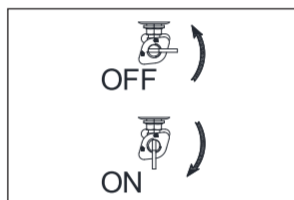
# 各部の名称と取り扱い

## 各部の取り扱い



### 1. オイル警告システム

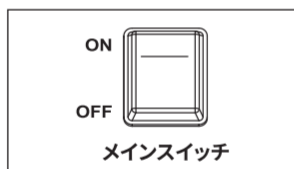
オイルレベルが下限レベルより低くなると、エンジンは自動的に停止します。オイルを補充しない限り、エンジンは再始動しません。



### 2. 燃料コック

燃料の流れを制御し、エンジンの始動、停止を行います。OFF(閉)のままだとガソリンが流れません、エンジンが始動できません。

- ON(開): エンジンをかけるときの位置です。
- OFF(閉): 初期状態です。停止および保管、運搬時の位置です。エンジン停止後は必ず燃料コックをOFFにしてください。



### 3. メインスイッチ

点火系統を制御しエンジンの始動、停止を行います。

- ON: 本機の起動、運転時の位置です。
- OFF: 本機の停止や保管時、運搬時の位置です。



### 4. ECOボタン

•ON(作動): エコモードを使用します。電気機器を使用すると自動的にエンジンは電気の使用量に応じたエンジン回転数となり、電気機器を使用しないときは自動的に低速運転になります。燃料消費と騒音を減らします。

•OFF(解除): エコモードを使用しません。電気機器の使用の有無にかかわらず、エンジンは定格回転で運転します。コンプレッサー、ポンプもしくは冷蔵庫のような大きな起動電流が必要なデバイスにご使用する場合または負荷が50%を超える場合は、必ずエコスイッチをOFFにしてください。



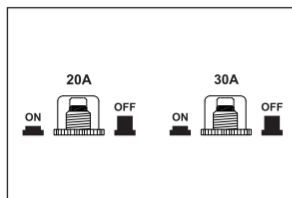
### 5. セルスタートボタン

バッテリーの電力を利用し、モーターを回転させ、その動力でエンジンを始動させる装置です。

バッテリーが接続済み、メインスイッチがONの状態、セルスタートボタンを一回長押しするとエンジンが起動します。もう一回長押しするとエンジンが停止します。

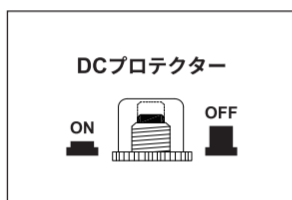
# 各部の名称と取り扱い

## 各部の取り扱い



### 6.ACプロテクタ20A/30A

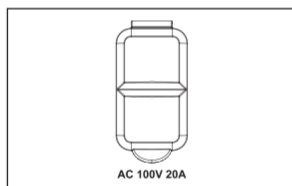
AC出力コンセントの温度がACプロテクタ(過熱保護装置)に設定された温度を超えた時にACプロテクタボタンが飛び出して「OFF」になり、電気が取らせなくなります。接続配線に異常がないか、また電気の取出し過ぎがないか確認してからACプロテクタを「ON」にします。



### DCプロテクター

### 7.DCプロテクター

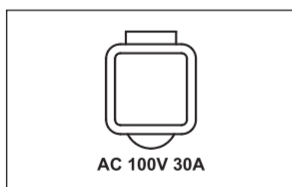
シガーソケットの温度がDCプロテクタ(過熱保護装置)に設定された温度を超えた時にDCプロテクタボタンが飛び出して「OFF」になり、電気が取らせなくなります。接続配線に異常がないか、また電気の取出し過ぎがないか確認してからDCプロテクタを「ON」にします。



AC 100V 20A

### 8.AC出力コンセント20A(単相)

AC出力コンセント20Aから普通の電気機器に給電可能です。電気機器の消費電力の合計が2000Wを超えないようにしてください。

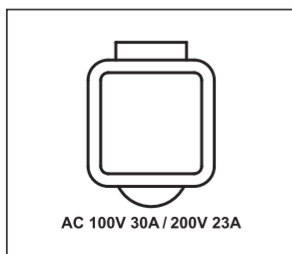


AC 100V 30A

### 9.AC出力コンセント30A(単相)

消費電力が2000W以上の電気機器に給電した場合、このコンセントを使ってください。また、NEMA規格L5-30Pに準拠した引掛プラグ(別売部品)を使用してください。参考プラグ:

- ・アメリカン電気(株)製3312N-L5
- ・(株)明工社製MH7153B



AC 100V 30A / 200V 23A

### 10.AC出力コンセント100V/200V(単相)

このコンセントから電気を取り出すには、NEMA規格L14-30Pに準拠した引掛プラグ(別売部品)を使用してください。引掛プラグの配線方式によって、100V/30Aまたは200V/23A(単相)の電気を取り出すことができます。

この出力ポートは、100Vのとき最大出力3000W、200Vのとき最大出力4600Wとなります。

参考プラグ: アメリカン電機(株)製 4312N-L14

# 各部の名称と取り扱い

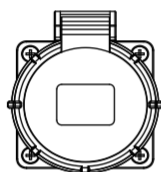
## 各部の取り扱い



### 11. 相数選択スイッチ

エンジンを始動する前に、使用する相数（単相または三相）を確認し、相数選択スイッチを対応するモードに切り替えてください。

運転中に単相/三相モードを切り替えることは絶対に禁止されています。



三相 AC 200V

### 12. AC出力コンセント200V(三相)

コンセントの蓋は閉じた状態で逆時計回りに回転させると開きます。

相数選択スイッチを「200V三相」に設定すると、このコンセントから定格7000Wの200V三相電力を出力できます。

単相と三相は同時に出力することはできず、相数選択スイッチでモードを切り替えて使用してください。

参考プラグ(別売部品):2533明工社製/WF5430パナソニックに相当するプラグ



DC 12V 8.3A

### 13. DCシガーソケット

シガーソケットから12V入力 of 車載冷蔵庫、車載炊飯器、冷温庫などに使えます。



### 14. アース端子

感電防止のアース線を取り付ける端子です。本機に接続する電気機器がアース付きプラグの場合は、本機も必ず接地(アース)してください。



### 15. 燃料残量計

燃料の残量を示すものです。

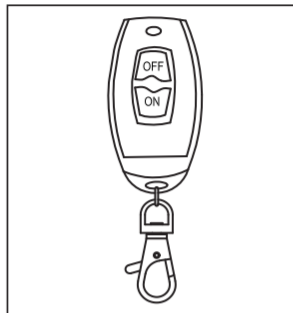
フロートが最上部にあれば燃料が満タンであることを示します。

フロートが最下部に位置する場合は、燃料が切れることを示します。

燃料が切れる前に、早めに補充してください。

# 各部の名称と取り扱い

## 各部の取り扱い



### 16.リモコン

有効距離:25m

ペアリング方法:

停止状態でセルスタートボタンを6秒間長押しすると、ボタンの赤灯が点灯し、ペアリングモードに入ります。その後、リモコンの「ON」ボタンを1回押し、1秒間隔でもう1回「ON」ボタンを押すと、赤灯が消灯し、ペアリングが成功します。

注意:発電機とリモコンは出荷時に既にペアリングされています。

# 運転前の点検

本機には「燃料」と「エンジンオイル」の2種類が必要です。下記をよくお読みいただき、必ず給油してからご使用ください。

## 燃料の給油

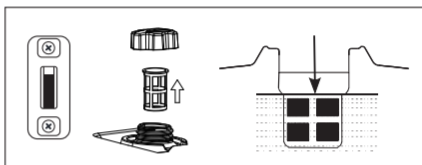
燃料タンクキャップを外し、燃料を給油します。作業は本機を水平にして行ってください。2回目以降の使用時:中にガソリンが残っていても劣化している恐れがあります。30日に1回、新しいガソリンに交換してください。

### 使用燃料:

無鉛ガソリン(自動車用レギュラーガソリン)

### 燃料タンク容量:

20L(赤レベルまで)



## 警告



禁止

- ・給油中は、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけないでください。また、金属部に手を触れるなどして、身体に帯電した静電気を除去してから給油作業を行ってください。
- ・エンジンが熱い時は給油しないでください。エンジン停止直後などエンジンが熱い時に給油すると引火のおそれがあります。



指示

- ・給油は、換気の良い場所でエンジンを停止してから行ってください。
- ・燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、または燃料が目に入ったりした場合は、直ちに医師の診断を受けてください。また燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は石鹸と水で直ちに洗い、衣類は取り替えてください。
- ・必ず無鉛レギュラーガソリンを補給してください。高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。

## 注意



禁止

- ・燃料は規定量以上(ストレナーの赤レベル以上)、給油しないでください。燃料が漏れるおそれがあります。
- ・軽油、灯油や粗悪ガソリンなどを補給したり、不適切な燃料添加剤は使用しないでください。エンジンなどに悪影響を与えます。
- ・古い燃料は使用しないでください。携行缶などで長期保管したガソリンは、エンジン始動不良や故障の原因となります。



指示

- ・ガソリンは自然劣化しますので30日に1回、定期的に新しいガソリンと入れ替えてください。
- ・燃料の給油時、燃料タンク内に水・雪・氷・ゴミが入らないように注意してください。また、こぼれたときは、直ちに布きれなどで完全にふき取ってください。
- ・ガソリンを一時的に保管・運搬するときは、消防法に適合した携行缶を使用してください。特にペットボトルに保管すると、ガソリン内にペットボトルの成分が溶け出し、エンジンに悪影響を及ぼすおそれがあります。

# 運転前の点検

## エンジンオイルの給油

1. オイルゲージを引き抜き、一度ウエスで拭き取ります。
2. オイルゲージを差し込んで(注入口からオイルゲージをねじ込まないで)から引き抜き、エンジンオイルが付着している部分の範囲で残量を確認します。
3. オイルゲージにはレベル線がついており、エンジンオイルがレベル線の上限付近まで付着していれば適正量です。

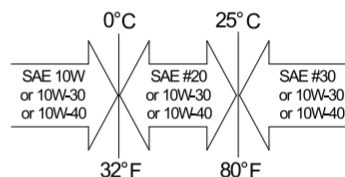
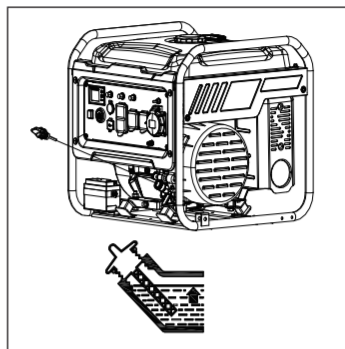
### 推奨オイル:

4サイクル用エンジンオイル  
SAE10W-30 API分類SJ級以上

### エンジンオイル規定量:1.1L

規定量以上に入れると白煙が出て、出力に影響を与えます。不足の場合、かかった後しばらくすると停止 になります。

初回のみ、20時間運転後または1ヶ月後にオイル交換を行ってください。2回目以降は50時間運転後または6ヶ月後にオイル交換を行ってください。



## ⚠ 注意



禁止

・エンジンオイルを給油しない場合、始動しないでください。オイルを入れ過ぎる場合は白煙が出て、アイドリングが不安定になることがあります。オイルが足りない場合は始動した後にオイル警告ランプが点灯し、直ぐに止まることがあります。



指示

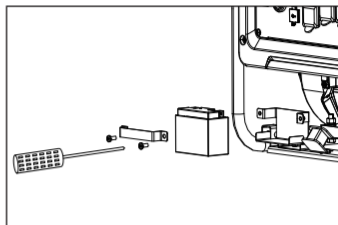
・オイルゲージは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。  
・初回のみ、1ヶ月後または20時間運転後にオイル交換を行ってください。  
2回目以降は50時間運転後、または6ヶ月後にオイル交換を行ってください。

# 運転前の点検

## バッテリーの接続

本製品を初めて起動する際には、予めバッテリーを接続する必要があります。

1. メインスイッチを「OFF」の位置にします。
2. 赤い導線をバッテリーの正極(+)端子にしっかりと取り付け、黒い導線をバッテリーの負極(-)端子にしっかりと取り付け、絶縁カバーを装着します。  
※極性を逆に接続しないように注意してください。
3. バッテリーがバッテリートレイにしっかりと取り付けられていることを確認します。
4. バッテリープレートをしっかりと締め付けます。



### 注意事項:

- ・バッテリーの接続時は、「正極(+)」を先に接続し、その後「負極(-)」を接続してください。
- ・バッテリーの取り外し時は、「負極(-)」を先に外し、その後「正極(+)」を外してください。

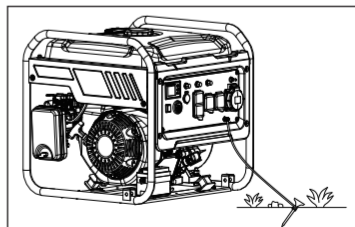
## 本機周辺の点検

- ・燃えやすい物(特にガソリンやエンジンオイルなど)や危険物は置いていませんか。
- ・周囲に火の気はありませんか。
- ・風通しは良いですか、また換気は十分ですか。
- ・使用場所が小石、土、砂利等で凸凹していたり、やわらかい場所で使用していませんか。やむを得ず使用する場合は、本機の下に板などを敷いて本機を安定させてください。
- ・傾斜地で使用していませんか。
- ・建物および他の設置物から1m以上離れていますか。また、排気口および吸気口は風通しの良い、広い場所に向けてありますか。

## 発電機の接地



発電機を使用する前に、ワイヤと小さな金属製アーススパイクを使って、発電機を正しくアースすることをお勧めします。ワイヤとアーススパイクはユニットに付属していません。

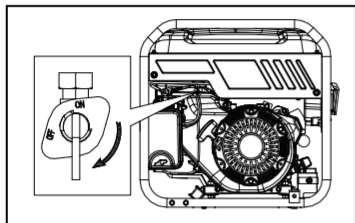


発電機はエンジンオイルなしで出荷しています。オイルを充填しないと、発電機が始動しません。使用前にエンジンオイルを給油して下さい。エンジンオイルを充填するときに発電機を傾けないでください。発電機を傾斜すると、オイルの過充填やエンジンの損傷につながる可能性があります。

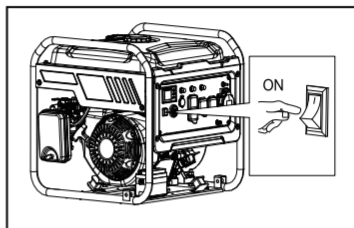
# 発電機のかけ方

## エンジンの始動

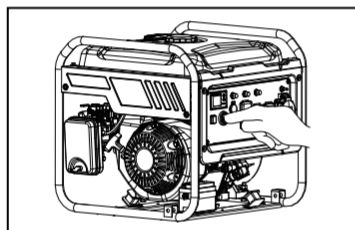
1. 燃料コックを「ON」の位置にします。



2. メインスイッチを「ON」の位置にし、デジタル表示画面を点灯させます。



3. エンジンを始動します。



どの起動方法を使っても、起動前には必ずバッテリーを接続しておく必要があります。

### 3.1【セルスタートボタンで始動する場合】

長押しでセルスタートボタンを押し、緑色のランプが点灯したらボタンを放し、起動プログラムを実行してエンジンを始動します。

## ⚠ 注意

- バッテリーの消費を抑えるため、メインスイッチが「ON」の状態でも発電機が起動していない場合、180秒後にデジタル画面は自動的に消灯します。このとき、画面表示を再び有効にしてセルスタートを行うには、セルスタートボタンを短く押してください。
- セルスタート手順実行中にエンジンが起動しなかった場合、自動的に次の起動プロセスに進みます。ただし、5回以内に起動に成功しないと、起動手順は停止します。

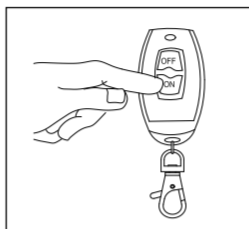
## ⚠ 警告

始動した後、エンジン故障インジケータが点灯した場合、または回転数が異常に高い、異臭が発生するなどの異常現象が見られた場合は、直ちにメインスイッチを「OFF」位置に設定し、エンジンを強制的に停止してください。故障を点検・排除した後でないと、再始動しないでください。

# 発電機のかけ方

## 3.2【リモコンで始動する場合】

リモコンのONボタンを2秒間長押しするとエンジンが起動します。

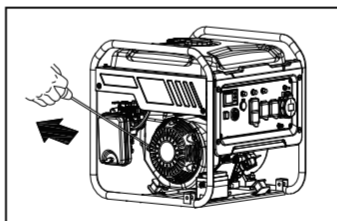


## ⚠ 注意

- 本リモコンの有効距離は25mですが、リモコンと発電機との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモコン待機時は、メインスイッチを「ON」の位置にしてください。長時間起動しない場合は、メインスイッチを「OFF」にすることで、バッテリーの長期待機による放電を防ぐことができます。

## 3.3【リコイルスターターで始動する場合】

リコイルスターターグリップを軽く引き出し、重くなった状態から勢いよく引き、エンジンを起動させます。リコイルスターターグリップは手を添えてゆっくりと元に戻してください。



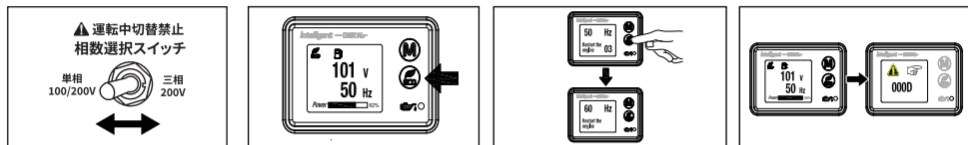
## ⚠ 注意

- 発電機を押さえながら引きます。引く過程で発電機が倒れないように注意してください。スターターグリップが発電機側に向かって素早く跳ね返らないようにし、グリップを優しく元の位置に戻してください。グリップが破損しないように注意してください。
- 周囲温度が0°C未満の場合、エンジンの始動後、無負荷で3～5分間予熱してから負荷をかけて使用してください。

# 電気の取り出し方

## ACコンセントの出力

- 1.使用する電気機器に応じて、単相/三相モードを選択します。
- 2.エンジンを起動します。
- 3.デジタル表示が正常か確認し、電気機器のプラグをACコンセントに挿入します。
- 4.電気機器のスイッチをオンにします。



### 注意事項

- 発電機が複数の電気機器に電力を供給する場合は、各電気機器の負荷に応じて、大きい順から起動してください。
- 「ECO」ボタンをクリックすることで、経済モードと非経済モードを切り替えることができます。
- 総負荷が発電機の定格出力範囲内であることを確認してください。そうでない場合、発電機に損傷を与える可能性があります。

## 警告

- 電気機器を接続する前に、まずデジタル表示パネルの周波数表示が機器の要求に適合しているかどうかを確認してください。必要に応じて切り替える場合は、ECOボタンを長押しして周波数切り替え画面に入り、画面の操作案内に従って50Hzと60Hzの間で周波数を切り替えてください。周波数の切り替えが成功した後は、エンジンを再起動する必要があります。
- 運転中に単相／三相モードを切り替えることは固く禁じられています。

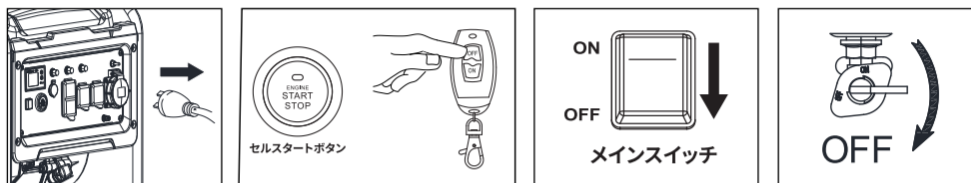
## 注意

- 電気機器を接続する前に、すべての機器はオフ状態にしておいてください。
- 発電機に接続する前に：  
全ての電気機器（配線・プラグを含む）が良好な状態であることを確認してください。電気機器の総合電力は発電機の定格出力範囲内に収める必要があります。また、電気機器の負荷電流はコンセントの定格電流範囲内に収める必要があります。
- 出力電力が定格電力を超えると、パワーメーター表示が黄色に変わります。出力が最大電力を超えると、パワーメーター表示が赤色になり、発電機は交流出力を停止します。デジタル表示パネルに故障表示画面が現れた場合、Mボタンをクリックしてコントローラーを再起動し、交流出力を復旧させることができます。

# 電気の取り出し方




## エンジンの停止

- 1.電気器具のスイッチをOFFにします。電気器具のプラグをコンセントから抜きます。
- 2.セルスタートボタンを押してエンジンを停止します。付属のリモコンを使用して停止することも可能です。
- 3.メインスイッチを[OFF]の位置にします。
- 4.燃料コックを[OFF]にします。



## 適用範囲

発電機を使用する前に、総負荷が発電機の定格負荷範囲内であることを確認してください。そうしないと、発電機が損傷する可能性があります。

負荷			
力率	1	0.8-0.95	0.4-0.75
出力	≤ 7000 W	≤ 5600 W	≤ 2800 W

## ⚠ 注意

精密機器、電子制御装置、コンピュータ、電子計算機、マイクロコンピュータなどに給電する際は、機器と発電機の間には十分な距離を保ち、発電機からの電磁干渉を防ぐと同時に、周囲の他の電子設備からの干渉を受けないようにしてください。

## ⚠ 警告

発電機の予定用途に適用される可能性のある法律、地域の規制または条例が存在するかもしれません。資格のある電気技師、電気検査員、または管轄権を持つ現地の機関に相談してください。

# 点検・整備の仕方

## 定期点検表

対象部品	点検項目	始業点検	初回の1ヶ月後 または 20時間 運転後	3ヶ月毎 または 50時間 運転毎	6ヶ月毎 または 100時間 運転毎	12ヶ月毎 または 200時間 運転毎
エンジンオイル	・量の点検	●				
	・交換		●※1	●		
燃料	・量、漏れの点検	●				
エアクリーナー	・損傷、劣化の目視と 指触による点検	●				
	・清掃			●※2		
点火プラグ	・点検と清掃				●	
	・交換					●
燃料タンクストレーナー	・汚れ、詰まりの目視点 検および清掃				●	
マフラーワイヤネット	・清掃			●		
外装	・取り付けボルトのゆる み確認			●		

※1 初回のみ、1ヶ月後または20時間運転後にオイル交換を行ってください。

2回目以降は50時間運転後または3ヶ月後にオイル交換を行ってください。

※2 ほこりの多い場所で作業した場合は、定期点検時期より早めに点検を行ってください。

## ⚠ 注意

- ・ディスプレイには、メンテナンス提示機能があります。メンテナンス提示画面に入った場合、Mボタンを長押しし、表示される画面の操作案内に従って、メンテナンス提示画面を消去してください。
- ・高温および高負荷状態で頻繁に作業する場合は、25時間ごとにオイルを交換してください。
- ・多塵または過酷な環境で頻繁に作業する場合は、10時間ごとエアクリーナーを清掃し、必要に応じて25時間ごとにエアクリーナーを交換してください。

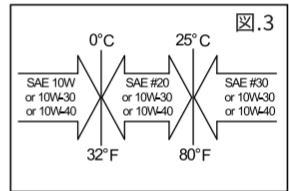
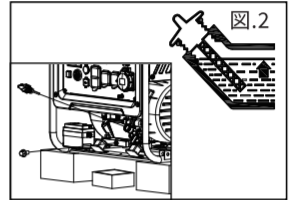
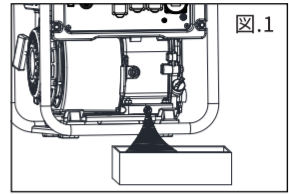
## ⚠ 警告

- ・メンテナンスを行う前に、必ず機械を停止させてから作業してください。発電機は水平な場所に設置し、エンジンの始動を防ぐため、点火プラグキャップを点火プラグから外してください。
- ・屋内やトンネル、軌道など換気の悪い場所では作業しないでください。必ず作業エリアが十分に換気されていることを確認してください。エンジンから排出される排気ガスには有毒な一酸化炭素が含まれており、吸入するとショック、意識喪失、さらには死亡に至る可能性があります。

# 点検・整備の仕方

## エンジンオイルの交換

1. 発電機を平らな場所に置き、エンジンを数分間作動させ、暖めます。次に、エンジンを停止し、燃料コックノブを「OFF」にします。
  2. エンジンの下部にオイルパンを置き、オールドレンボルトを外して、オイルがスムーズに流れ落ちるようにします。図.1
  3. 発電機を水平な場所に戻し、オイルゲージのレベル線の上限付近まで適切な量のエンジンオイルを補充します。図.2
  4. オイルゲージを締めます。
  5. こぼれたオイルを拭き取ります。
- 推薦されるエンジンオイルAPIサービス「SJ」図.3



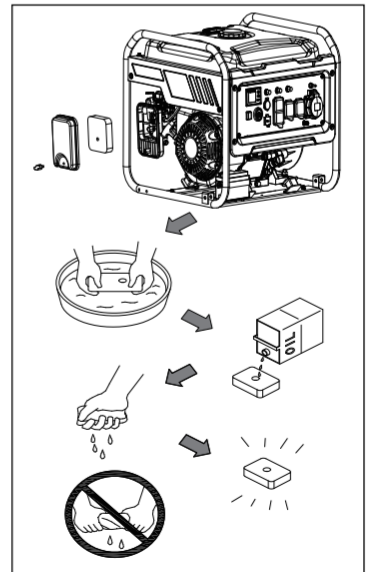
異物がクランクケースに入らないようにしてください。エンジンオイルを添加するときに発電機を傾けないでください。過充填やエンジンの損傷につながる可能性があります。

## エアクリーナーエレメントの清掃

1. エアフィルターカバーとエアフィルタースポンジを取り外します。
2. エアフィルターのフィルターエレメントを石鹼水または不燃性溶剤で洗浄し、乾燥させます。
3. エアフィルターのフィルターエレメントにオイルを塗布し、余分な油を絞り出します。フィルターエレメントは湿っている状態である必要がありますが、油が滴ることはありません。
4. エアフィルターのフィルターエレメントをエアフィルター本体に戻します。
5. エアフィルターカバーを取り付けます。



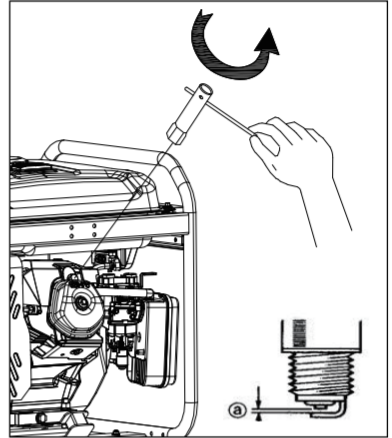
フィルターエレメントがない状態で、エンジンを絶対に始動しないでください。過度のピストンおよびシリンダーの磨耗が起こる可能性があります。



# 点検・整備の仕方

## 点火プラグの点検と清掃

1. スパークプラグキャップを取り外します。
2. スパークプラグソケットを挿入し、反時計回りに回転させてスパークプラグを取り外します。
3. 変色やカーボン堆積の有無を確認し、清掃します。スパークプラグの中心電極周囲の接地電極は、良好な状態であれば中程度から薄い茶色を呈しているはずです。電極の摩耗、絶縁体の割れ・剥がれ・汚れがある場合は交換してください。
4. スパークプラグの型番とギャップを確認し、必要に応じてギャップを調整します。
5. スパークプラグを再び取り付けます。スパークプラグのトルク:  $13.5 \pm 1.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  です。  
※ヒント: トルクレンチがない場合、目安として「締めした後、さらに  $1/4 \sim 1/2$  回転ほど追加で締める」のが良い推定方法です。
6. スパークプラグキャップをスパークプラグに再取り付けします。



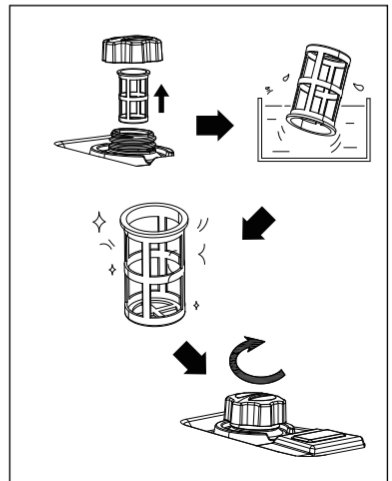
標準点火プラグ: F6RTC (TORCH)  
点火プラグギャップ: 0.6-0.8mm

## 燃料タンクストレーナーの清掃

1. 燃料タンクキャップおよび燃料フィルターを取り外し
2. ガソリンで燃料フィルターを洗浄
3. フィルターをよく拭き取って乾燥させ、燃料タンク内に戻す
4. 燃料タンクキャップを再度取り付け



タンクキャップがしっかり締められていることを確認してください。



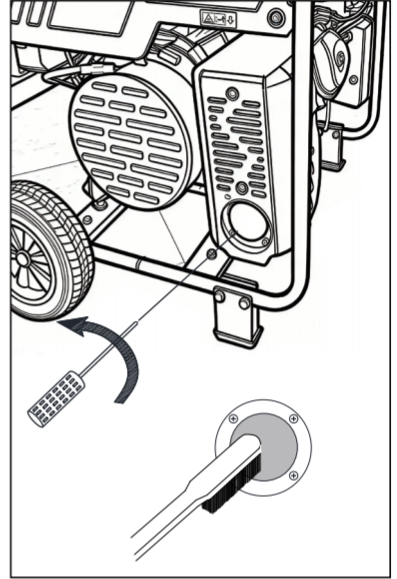
# 点検・整備の仕方

## マフラーキャップの清掃



エンジンが作動した後、エンジンとマフラーは非常に熱くなります。点検や修理の際は、エンジンがまだ熱いうちに身体や衣服のあらゆる部分でエンジンやマフラーに触らないでください。

1. マフラーカバーを取り外します。
2. マフラーアークサプレッサー（消弧罩）の取り付けボルトを外します。
3. マフラーキャップとアークサプレッサーを取り外します。
4. ワイヤブラシを使って、マフラーキャップとアークサプレッサーのカーボン堆積物を軽く掃除します。マフラーキャップやアークサプレッサーを傷つけたり、引っこいたりしないよう注意してください。
5. マフラーキャップとアークサプレッサーを点検し、破損している場合はすぐに交換してください。
6. 各部品を元の順番で取り付け直します。

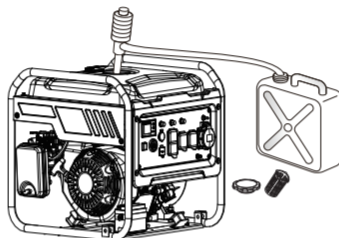


# 運搬する場合には

発電機を自動車・トラックなどの車両で運搬する場合は、以下を必ず守ってください。

## 運搬の場合

- 1.メインスイッチを「OFF」の位置にします。
- 2.燃料コックを「OFF」の位置にします。
- 3.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り外し、市販の手動式ガソリン用ポンプを使用して燃料を抜きます。なお、電動式ポンプは使用しないでください。



- 4.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り付けます。
- 5.本機が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載し、ロープなどでしっかり固定します。

## 警告



禁止

- 振動、衝撃などで燃料タンクの燃料がこぼれるおそれがありますので、燃料タンクに燃料を給油したまま運搬しないでください。
- 燃料が気化して引火するおそれがありますので、発電機を車内やトランクなどに積載したまま、長い時間直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 火災のおそれあり、車両に積載したまま使用しないでください。
- 発電機の上に重い物を置かないでください。



指示

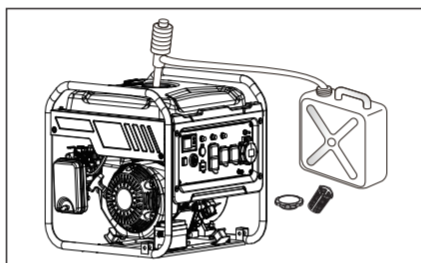
- 火災のおそれがありますので、予備の燃料は消防法に適合した鉄製の携帯タンクに保管してください。
- 本機が移動、横倒、落下、破損などしないような位置に積載してください。特に横倒したまま運搬すると、エンジンがかからなくなるなど、エンジン故障の原因となります。

# 一時保管・長期保管

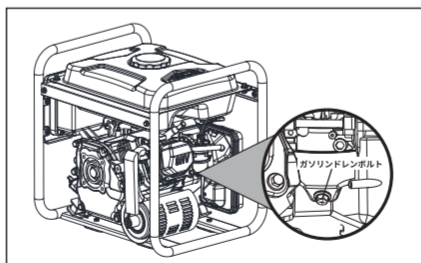
使用后または定期運転後、次回の使用が3ヶ月以降になる場合は「一時保管」を、それ以上長期に渡って使用しない場合は「長期保管」を行ってください。これらを行わないと、故障の原因となります。

## 一時保管の場合

1.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り外し、市販の手動式ガソリン用ポンプを使用して燃料を抜きます。なお、電動式ポンプは使用しないでください。



- 2.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り付けます。
- 3.燃料タンク内のガソリンを抜いた後、発電機を起動します。(16ページ参照)
- 4.無負荷運転(電気機器は接続しない)を行ってます。エンジンが「ガス欠状態」で停止するまで待ちます。燃料タンク内の燃料残量によって「ガス欠状態」になるまでの時間は変わります。
- 5.エンジンが停止しましたら、排出するガソリンを受ける容器を用意します。
- 6.ガソリンドレンボルトをドライバーで弛め燃料を抜きます。キャブレター内のガソリンを抜かず、に長期間放置すると、ガソリンが変質しエンジンがかからなくなる場合があります。

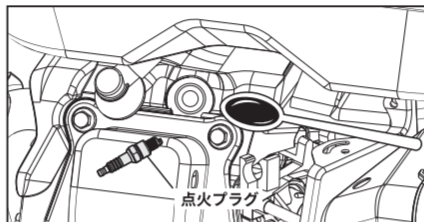


- 7.ガソリンドレンボルトを締め付けます。
- 8.メインスイッチを「OFF」の位置にし、燃料コックを「OFF」の位置にします。
- 9.室内で湿気が少なく換気の良い場所に保管します。

# 一時保管・長期保管

## 長期保管の場合

- 1.“一時保管”の「1～9」の作業を行います。
- 2.点火プラグを外し、プラグ孔からエンジンオイルを5～10mL給油します。
- 3.リコイルスターターグリップを2～3回ゆっくりと引いた後、点火プラグを取り付けます。



- 4.リコイルスターターグリップを引き、重くなった状態(圧縮状態)にします。
- 5.各部の水、ほこりなどの汚れをきれいに清掃します。
- 6.発電機にカバーを掛け、室内で湿気が少なく換気の良い場所に保管します。

## 保管後の使用

保管期間	始動不良を防ぐためのメンテナンス
2ヶ月以内	準備の必要はありません
2～6ヶ月	燃料(ガソリン)を抜き、新しいガソリンを追加してください。
6ヶ月以上	燃料(ガソリン)を抜き、新しいガソリンを追加してください。
	キャブレター内のガソリンも抜いてください。

# 不具合時の対応

故障は行き届いた点検整備により未然に防ぐことができます。故障の多くは、取扱いの不慣れや不十分な点検に起因しています。まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常がある場合はむやみに分解しないでお買い上げの販売店にお問い合わせください。

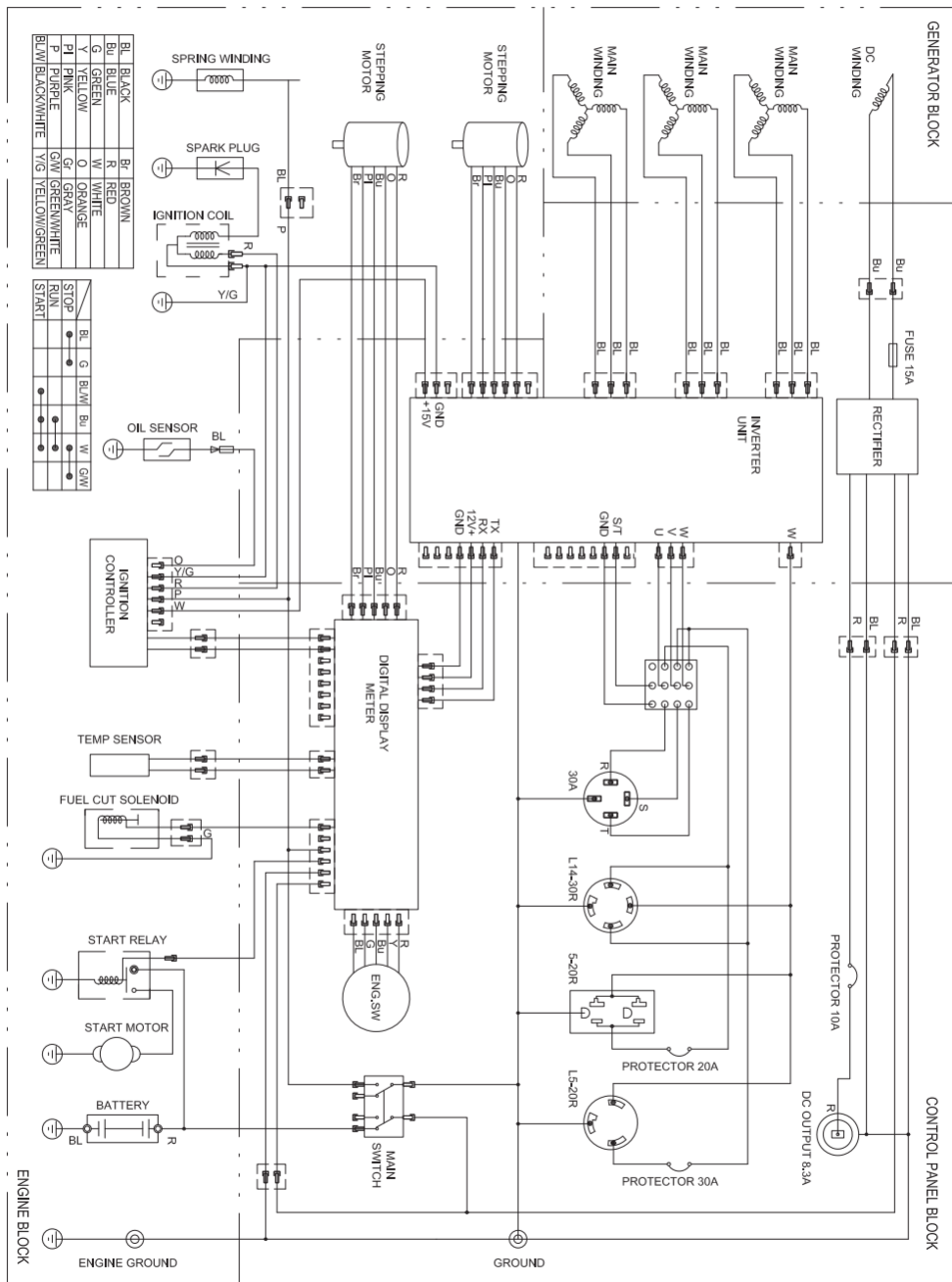
症状	考えられる原因	処置	参照ページ
エンジンが 始動しない	ガソリンが入っていない	ガソリンを給油する	13ページ
	オイル警告灯(赤)が点灯している→エンジンオイルが入っていない、量が少ない	エンジンオイルを給油する	14ページ
	エンジンのかけ方に不足などがある	正しいかけ方を再確認する	16ページ 17ページ
	エアクリーナーの汚れ	エアクリーナーの清掃	21ページ
	点火プラグかぶり、汚れ、破損	点検・清掃・交換	22ページ
	本機が傾いている → オイルアラート機構の作動	水平にする	9ページ
	問題のある燃料、エンジンオイルによるエンジン不調	正しい燃料・エンジンオイルに入れ替え	13ページ 14ページ
	バッテリーが接続されていない	バッテリーを正しく接続する	15ページ
エンジンが 数分動いた 後止まる	暖気運転が足りない	暖気運転を行う	17ページ
	複数の電気機器を使用するなど急に大きな電気を取り出した	電気を少しずつ取り出す	/
	点火プラグの劣化	点火プラグの点検・交換	22ページ
	キャブレターが詰まっている	キャブレターの清掃	/
マフラーから 白煙が出る	エンジンオイルの入れ過ぎ	エンジンオイルを排出して規定量を注入する	14ページ 21ページ
	SA級など、指定以外のエンジンオイルを使用	指定のエンジンオイルを使用する	14ページ
電気が取り 出せない	故障表示画面が出た	過負荷の原因または使用器具の異常を改善する	6ページ
	水中ポンプ、コンプレッサーなど、起動時に大電流が流れる電気機器を使用する	エコモードをOFFにする	9ページ
	シートをかぶせている、または屋内で使用するなどして本機の温度が高くなっている	本機周辺を点検する、または屋外で使用する	15ページ

# 仕様諸元

仕様		
発電機	モデル	GT8000iOTE
	タイプ	インバーター発電機
	AC電圧	100V/200V
	周波数	50Hz / 60Hz
	相数	単相/三相
	最大出力	7.7kW
	定格出力	7.0kW
エンジン	タイプ	空気冷却、4ストローク、OHV、ガソリンエンジン
	排気量	458 cc
	燃料	無鉛ガソリン
	燃料タンク容量	20L
	定格連続運転時間	4.5時間 (100%負荷) / 9.5時間 (25%負荷)
	エンジンオイル	4サイクル用エンジンオイル SAE10W-30 API分類SJ級以上
	エンジンオイル規定量	1.1L
	始動方式	リコイルスターター/セルスタート/リモコン
	点火システム	C.D.I.
	点火プラグ(タイプ)	F6RTC (TORCH)
寸法	本体サイズ L×W×H	570×540×575.5mm
	梱包サイズ L×W×H	595×560×590mm
	正味重量	62.0kg
	総重量	67.0kg
使用環境温度		-10°C～40°C

仕様は予告なしに変更されることがあります。

# 配線図



# 保証期間およびお問い合わせ

- ・本製品の保証期間はご購入より1年間となります。
- ・本製品の仕様は予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。
- ・本製品は使用電子部品の製造中止で、生産及び販売終了となる場合があります。予めご了承ください。
- ・本製品のお問い合わせについて、故障など疑われる場合は、次のことをお知らせ下さい。
  - ・ご購入時期
  - ・ご注文番号と商品の型番
  - ・故障の状況 (できるだけ詳しくご説明ください。)
- ・ご不明な点や故障に関するご相談は、ご購入の販売店、または下記営業窓口にお問い合わせください。

## メールアドレス



support@eenour.com

受付時間:10:00-13:00、14:30-18:30

(土・日曜、祝祭日・年末年始および当社指定休業日は除く)

# 保証書

本保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。

## 保証書

品名	EENOURインバーター発電機
品番	GT8000iOTE
購入日	年 月 日
保証期間	上記ご購入日より1年間（消耗品を除く）
お客様	ご住所 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	電話 (            )
	お名前 ----- 様

1. 取扱説明書、注意事項などにしたがって正常な使用状態で故障した場合に限ります。
2. 保証期間内に前項に該当する故障が発生した場合に限ります。
3. 消耗品に関しましては、保証対象外となります。
4. 保証期間内でも次の場合は、有料修理となります。  
\* 本書のご提示がない場合や、購入日、販売店名の記載がない場合。  
\* 使用上の誤り、他店・個人での修理、分解、改造、調整による故障等。  
\* お買い上げ後の移動、落下、天災地変、異常電圧による故障。
5. 保証書の発行により、ご購入者の法律上の権利を制限するものではありません。

### 免責事項

法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても、本製品の使用または、使用不能から生ずる直接損害、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、経済的拡大被害（逸失した利益、ビジネス上の収益、信用あるいは節約すべきし費用を含む）、他の機器や部品に対するデータの損失または損害、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（身体障害に起因する死亡及び怪我を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとさせていただきます。

# 保証の適用例外

1. 注文番号や保証書が提示できない場合。
  2. 保証書の字句を書き替えられた場合、改ざんされている場合、その他事実と異なる記載がされていた場合。
  3. ご使用上の誤り、または不当な修理や改造、誤接続、誤挿入や指定外の電源使用、他の接続している製品から受けた障害や、故障、損傷の場合。
  4. お買い上げ後の輸送や移動および落下、お客様にお引渡し後の不適当なお取り扱いにより生じた故障および損傷の場合。
  5. 火災/地震/風水害/落雷その他の天変地変、テロ、暴動、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）異常な室温での使用、異常電圧などによる故障および損傷の場合。
  6. お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合（例：埃、錆、カビ、虫、小動物の侵入および糞尿による故障等）。
  7. 弊社に了承なく、製品本来の利用目的外で使用したことによる故障および損傷の場合。
  8. 再生品および中古販売で購入された場合。
- 以上各条に該当すると当社が判断した場合は保証期間内でも、有償修理または保証対象外となります。